

2015年度前期		リフレクションペーパー						
学科名	建築・デザイン学科							
科目名	建築設備の計画							
科目区分	専門科目	単位数	2	開講時期	3年前期			
必修・選択の別	選択科目(建築工学コース、建築コース)							
担当者	齋藤健二							
授業の到達目標(シラバスから)	<ul style="list-style-type: none"> ・建築設備工学の基礎的応用知識を理解し、説明できる。(C3) ・建物の快適室内環境を実現するための基礎的応用技術を理解し、説明できる。(C3) ・建築設備の計画手法と設計手法を理解し、説明できる。(C3) 							
日程と内容	4/10 授業概要の説明、評価基準の説明 4/17 空調設備の計画 4/24 空調負荷計算 5/1 空調負荷計算 5/8 空気線図 5/15 空気線図・演習1 5/22 熱源機械、冷凍機の原理 5/29 空調機器 6/5 配管システム、配管方式 6/12 配管抵抗、ポンプの揚程 6/19 ダクトの設計 6/26 ダクトの設計、ダクトの抵抗、ダクトサイズの求め方 7/3 換気設備、地域冷暖房 7/10 演習2、授業評価アンケート 7/17 定期試験(60分) 7/24 定期試験の解説							
成績評価基準	定期試験	70%	実技	0%	臨時試験	0%	部外評価	0%
	報告書・レポート	0%	プレゼンテーション	0%	課題	0%		
	演習	30%	計	100%				
授業到達目標の達成度	<ul style="list-style-type: none"> ・建築設備工学の基礎的応用知識を理解し、説明できる。:達成した。 ・建物の快適室内環境を実現するための基礎的応用技術を理解し、説明できる。:達成した。 ・建築設備の計画手法と設計手法を理解し、説明できる。:達成した。 							
反省点	授業への出席率や演習問題の成績は良いのに定期試験ができていない学生が不合格となった。今年度は授業の途中で退席する学生が多く見受けられた。出欠登録が電子化されたことが原因と思われるが、今後の課題である。							
来年度の計画	私の授業は今年度で終了である。地球環境保護の観点から建築設備の重要性は益々大きくなっている。学生にはこの点を理解し、興味をもって授業に臨んでほしい。							
授業評価アンケートに対するコメント	この科目の授業評価はやっと全科目平均にほぼ等しくなった。受講人員数と教室の広さが調和して授業が行い易かった。							
履修登録者数	54名	定期試験受験者数	54名	合格者数	50名	合格率	93%	